



プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM) 演習を通じて、観光開発における問題分析、解決方法を検討する

# 地域ぐるみで島の魅力を伝えよう

自治体、住民が一体となり、“地域ぐるみの観光開発”が進められている沖縄県。そのノウハウを学ぼうと、マイクロネシア三国、カリブ諸国から研修員がやってきた。

## 沖縄県

地域と世界のきずな

7



### 沖縄県

面積2,275.71平方キロ、人口約140万人。マンゴーなどのトロピカルフルーツや、サトウキビ、タバコ、ゴーヤーなどが生産でき、クルマエビやモズクの養殖も盛ん。首里城跡を含む9カ所の世界遺産を有し、年間600万人近くの観光客が訪れる。環境を破壊することなく、観光客が地域特有の自然・生活文化に触れながら学べる「エコツーリズム」をはじめ、国際会議や外国人の誘致、ファミリー向けの観光開発などに取り組んでおり、その知見を生かしてJICAの研修にも数多く協力している。

### 沖縄の観光開発を島国へ

日本で唯一亜熱帯地域に属し、一年を通して温暖な気候に恵まれる沖縄県。大人から子どもまで、幅広い年齢層が楽しめることから、日本国内でも人気の高い観光地の一つだ。豊かな自然、マリンスポーツ、地元色あふれる食べ物——沖縄の魅力は、それだけではない。県民の生活、自然環境に配慮した観光開発が、多くの人々をひきつけ、地域の発展にもつながっている。

同じく島々から成る大洋州地域やカリブ地域でも、観光は国の発展を支える上で重要な産業となっている。しかし現地では、地域資源の魅力を十分に引き出し、持続的に活用していくための人材が不足している。そこでJICAは、長年にわたり沖縄が培った観光開発のノウハウを生かし、マイクロネシア三国(パラオ、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島)とカリブ諸国※を対象に、「持続可能な観光開発」をテーマにした研修を開始。NPO法人おきなわ環境クラブと協働で、観光省の職員らを対象に、毎年約2カ月にわたる研修を実施している。

研修内容は、世界遺産である首里城など観光施設の見学、観光振興に携わる県庁や自治体の職員による講義、地元農家、ホテルの視察とさま



やんばる物産センターで野菜売場を見学する研修員。流通システムや販売、陳列方法について学ぶ

ざま。「沖縄の観光開発について幅広く学び、実感できるプログラムになっています」とおきなわ環境クラブ事務局長の吉田透さんは話す。吉田さんは、これまでもJICAの研修を数多く担当。国際協力に理解のある地域の人々とのつながりも深く、自治体、企業、NGO/NPOなどを協力者として取り込み、「地域密着型」の研修を行っている。

### 大学の協力により理論面を補完

研修の理論面をカバーしているのが、琉球大学(マイクロネシア三国)、名城大学(カリブ諸国)の教授陣。学術的な立場からアドバイスを行い、研修中は「持続可能な観光の現状と課題」「エコツーリズム概論」などの講義を担当している。名城大学国際学群観光産業専攻の新垣裕治教授は、「理論と実践を組み合わせることで、より理解の幅が広がります」と強調する。

カリブ諸国の研修は今年で6年目、マイクロネシア三国の研修は4年目を迎え、内容も年々進化を遂げている。新垣教授いわく、「沖縄の観光の現状について、実感を持ってとらえることができるよう、現場の体験」ができる研修にしました。石垣島、竹富島、西表島などの離島、東村などの視察は、研修員からの評価も高い。

沖縄を訪れた研修員はそろって、「沖縄の人たちは、ホスピタリティーにあふれている」と口にする。観光施設ではもちろん、日常で接する人すべてに「温かさ」がある。そこからも、彼らは「地域住民を巻き込んだ観光開発」の重要性を見出したようだ。

今年3月、琉球大学観光産業科学部の梅村哲夫教授と吉田さんは、研修員の帰国後の活動を視察するため、マイクロネシアのパラオを訪問した。過去3年間で受け入れたパラオの研修員は7人。「試行錯誤しながらも、アクションプランの実現に向けて奮闘していた。帰国研修員同士が協力して、新たな取り組みが生まれれば」と梅村教授。「このようなフォロワーシップにより、研修の成果も上がるはず」と展望を語る。

他方、「研修員から学ぶこともたくさんある」と吉田さん。沖縄は国内旅行者が圧倒的に多いため、どちらかというところ、日本人向け“の開発が進められてきた。「パラオでは、欧米人観光客向けに、町中に英語表記が充実していた。沖縄がこれから力を入れるべき部分です」。いまだ、知られざる魅力を秘めた大洋州地域とカリブ地域。沖縄での研修を通じて、各国に適した「持続的な観光開発」が推進されていくことを期待したい。



沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザで、ごみ分別状況の説明を受ける



はなや かむら たまぐすく花野果村で、自ら収穫した野菜を使って料理に挑戦



まさし 那覇市の第一牧志公設市場を見学する研修員

西表島の仲間川の木道にてマングローブ林を見学

